

小学校 第3学年 給食時間の学習指導案

1 題材名 「すり身揚げを味わおう」

2 題材設定の理由

すり身揚げは、昔から大瀬戸町の家庭で作り食べてきた料理で「かんぼこ」とも言われ親しまれてきた。社会科の学習でも西海市について学習していることから、身近な海でとれる魚から作る料理は興味をもって食べると考え、この題材を設定した。

3 本時の目標

すり身揚げは、たくさんとれるあじから作られることを知り、古くから伝わる料理を進んで食べようとする意欲をもつ。

4 食育の視点

食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深める。（食文化）

5 他教科との関連

社会科 「働く人とわたしたちの暮らし」

総合的な学習の時間 「わたしのまちのとおき」

6 本時の展開

過程	学習活動及び学習内容	指導上の留意点	資 料
食前	○すり身揚げは、あじから作られていることを知る。	○あじの写真を見せながら、すり身があじから作られていることを知らせる。	あじの写真
食事中	○すり身揚げを味わって食べる。	○すりみ揚げを作っているのを見たことがあるか尋ねたり、よく味わって食べるように促す。	
すりみ揚げについて知ろう			
食後	○大瀬戸ではあじがたくさんとれることを知る。 ○すりみ揚げは大瀬戸町で昔から作り食べてきた料理であることを知る。 ○大瀬戸で昔から食べられてきた郷土料理を知る。	○大瀬戸町でとれるあじについて知らせる。 ○給食でつくっている写真を見せ、興味をもたせる。 ○大瀬戸町の郷土料理を知らせる。	写真

7 指導のつながり

- ・放送資料や食育の日資料で郷土料理の啓発をはかる。
- ・食育だよりレシピを載せ家庭へ知らせる。